

平成 24 年度春季全国大会

インターネットによる「研究発表」講演申込受付及び原稿提出受付について

— 申込みはインターネット (J-STAGE) による講演申込のみになります。御協力下さい。 —

平成 15 年度秋季大会より、J-Stage (科学技術振興機構) を利用して、インターネットによる講演申込受付及び PDF ファイル形式による原稿の提出受付をしています。申込については、本会ホームページ「全国大会の案内」からお申し込み下さい。なお、申込及び原稿提出は、J-STAGE 利用のみとなりますのでご注意ください。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領 (和文、英文)、講演プログラム校正の電子化、フォーラム論文募集、液晶プロジェクターの利用について等講演及び大会に関する情報については、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

講演申込及び原稿提出につきましては、受付期間が各 3 週間程度に限定されておりますのでご注意ください。

申込受付期間：11 月 9 日 12:00～11 月 30 日 14:00,

原稿提出期間：1 月 11 日 12:00～2 月 1 日 14:00

PDF 原稿を作成するに際しては、PDF をプリントアウトする等、文字、写真等の品質をあらかじめ確認して下さい。

なお、講演概要は J-Stage にて公開されますので、公開を希望されない方は、非公開希望の旨、あらかじめお申し込み時に学会事務局まで申し出て下さい。

(注意事項)

- ① 上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますと J-STAGE の利用はいっさい不可能となります。時間に余裕を持ってご利用ください。なお、詳細な情報は学会 HP にて確認してください。
- ② 原稿のファイル形式は、PDF 形式のみ受付ます。PDF のファイルサイズの上限は、3MB です。
PDF ファイル作成のためには、PDF ファイル作成専用ソフト Adobe Acrobat (4.0 以上のバージョン) をご利用下さい。無料配布ソフト Adobe Reader では PDF ファイル作成ができませんので、ご注意ください。
- ③ PDF 原稿提出時に申込時の受付番号とパスワードが必要になりますので忘れずに保管してください。

平成24年度春季全国大会「研究発表」講演募集

— インターネット（J-STAGE）による講演申込のみになります。御協力下さい。 —

申込者各位におかれましては、くれぐれも期日を厳守くださるようお願いいたします。

原稿締切から概要集発行までぎりぎりの時間しかありませんので、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら掲載をお断りし、その部分白紙のまま発行することになりますのであらかじめご了承ください。また、プログラム編成後の申込取消は修正不可能ですのでプログラム及び概要集にはその旨記載され、その部分ブランクのまま発表されますのでご了承ください。

◇ ————— ◇

平成24年度春季全国大会を下記のとおり開催いたしますから、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください。

開催期日：平成24年4月10日(火)、11日(水)、12日(木)

開催場所：ATC（大阪市住之江区）

— 講演申込募集 —

1. 申込期間：平成23年11月9日(水)12:00～
平成23年11月30日(水)14:00
2. 申込資格：講演者は正員であること。連名の場合、講演者は正員(学生員も認める)でなければなりません。
3. 申込方法：学会ホームページへアクセスして、画面上からお申込み下さい。また、下記講演登録料をご納入ください。同一大会での連続報告は2報までですのでご注意ください。
◎講演登録料：1件について8,000円をご納入ください。送金は銀行振込でお願いいたします(振込口座は申込受付時にメール送信いたします)。登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください。
◎受付済通知：J-STAGEより受付番号が発行されますのでパスワードとともに保管しておいて下さい。

※大会参加費は下記料金(改訂後)を大会当日別途申し受けますのでご注意ください。なお、講演概要集(5,000円)は別売となります。

(円)

会員区分		講演登録料		大会参加費	
		改訂前	改訂後	改訂前	改訂後
個人会員	正員	4,000	8,000	2,000	5,000
	学生員			無料	2,000
賛助員		発表不可	発表不可	2,000	5,000
非会員	学生以外	発表不可	発表不可	4,000	10,000
	学生			無料	3,000

*全国大会の講演登録料・参加費について

平成9年度に一部料金を改定しましたが、全国大会の恒常的な赤字運営は解消されていません。一方、公益法人改革の中で「公益性のある一般社団法人」への円滑な移行を目指すためにも、健全な学会財政基盤を構築する必要があります。

このような背景から、全国大会の開催に関して、平成23年度春季全国大会より、講演登録料および大会参加費を改定することになりました。

(平成22年6月11日理事会議決)

4. 原稿(PDF)提出期間：
平成24年1月11日(水)12:00～2月1日(水)14:00
 5. 講演概要原稿：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください。
 6. 発表時間：講演10分、討論5分
 7. 講演申込の確認：申込を受付けますとただちに受付番号を送信いたします。
 8. 講演申込の取り消しについて
講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。
 9. 付帯器具の申込み：講演に必要な器具(フィルム映写機、VTR等)は遅くとも大会1カ月前までにお申出ください。大会直前に申し出られましても準備できない場合があります。同様器具を持ち込まれる場合も事前にお申出ください。会場の都合で設営できない場合があります。PC用液晶プロジェクタは常備します。なお、操作は講演者側でお願いします。
- ※PDF(原稿)作成の場合は、事前に解像度を確認してください。

全国大会講演概要原稿執筆要領

— PDF 原稿のみとなります。 —

概要原稿（テンプレート）が本会ホームページに用意されていますのでご利用ください。

講演概要は、提出された原稿をそのまま B5 版（約 2/3）に縮写しオフセット印刷しますので、原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお、この要領に記載していない事項については、「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

1. 原稿用紙

本会所定（又は、指定フォーマット）のものに限ります。

1 ページ目は、題目、勤務先（研究場所）、氏名、英文タイトル、英文著者名、キーワード、本文などの記入用の用紙（A）を使用してください。

2. 原稿の長さ

題目（和英両文）、勤務先、著者名（和英両文）、キーワード（和英両文）本文、図表及び写真を含めて、原稿用紙 2 枚（A, B）にできるだけ余白を残さずに書いてください。

字数は、40 字×37 行×2 枚=2,960 字（タイトル等に約 360 字、本文は約 2,600 字）です。

3. 原稿の書き方

イ. 題目、勤務先、著者名、キーワード

原稿用紙(A)の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

（副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いのないように記載して下さい）

著者連名の場合は、講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は、次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように 3~5 ワード書いて下さい。

キーワード：アーク、凝固、割れ、疲労

Keywords: arc, plasma, physics

ロ. 本文

原稿用紙（A）12 行目から（B）いっぱい原稿用紙のコ

マに合わせて黒色で書いてください。また、タイプライター、ワープロ使用の場合、用紙の枠いっぱいにコマ数（40 字×37 行）だけ打ってください。（全体の字数が超過しなければ、行数、一行の字数の多少の変動はかまいません）

オフセット印刷であることを考えて、文字、図表は鮮明に書いてください。

レイアウトに際しては、概要集全体の体裁を考えて、行頭、端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは、刷り上がりが約 2/3 に縮刷されることを考慮して、大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意ください。

大体、原稿用紙のコマに多少隙間をつけて書けば刷り上がりがきれいになります。

ハ. 図表及び写真

図表及び写真は、縮尺（約 2/3）を考慮した大きさにして関連する本文の近い場所に貼付してください。

または、直接原稿用紙に書き込んで結構です。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意ください。

なお、顕微鏡写真など縮尺を記入する必要があるものは、刷り上がりが 2/3 になることを計算して記入してください。

図表及び写真には、Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し、表題、説明（Caption）は英文で書いてください。（写真は Photo でなく Fig. としてください）

4. 校正

校正は（著者、編集者とも）いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。

5. 原稿の提出

提出期間内に PDF（原稿）を J-STAGE に（学会ホームページより）アップロードしてください。原稿提出期限を過ぎますと画面が閉鎖されアップロードできなくなりますので充分ご注意ください。



Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and reduced in size of about 2/3 for printing and published as “Preprint of the National Meeting of JWS”.

1. Manuscript papers

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A. Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3~5 words) should be noted

b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor

5. Submission of manuscripts

Manuscripts should be mailed to JWS office in an envelope, with a red note “Manuscript for the National Meeting” on its face surface. It is advised to put a hard sheet in the envelope to avoid any damage of manuscripts by bending during handling

— SAMPLE (reduced in size) —

12pt, 明朝体

PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda 10.5pt

Department of Welding and Production Engineering

Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi 10.5pt

Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plastic constraint 10.5pt

10.5pt

INTRODUCTION

10.5pt

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major factor

resistance because stress fields are strongly dependent on the constraint condition toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.

全国大会講演申込手順

〔講演申込手順〕

1. 申し込みは、学会ホームページのお知らせにある大会講演申込の案内にある「講演申込」をクリックして下さい。
講演申し込み画面が表示されます。
2. 申し込み画面では、「新規登録及」と「登録内容確認」が表示されています。最初は「新規登録」をクリックしてください。
入力の前に、新規登録及び登録内容確認についての説明が記載されておりますので必ずお読みいただき、操作上の注意事項を確認の上入力を開始してください。登録後に登録内容確認などを行うには受付番号と登録時に入力したパスワードがないと作業が行えませんので必ず保管下さい。当学会事務局では受付番号の確認はできますが、パスワードはわかりませんので、お問い合わせされる場合はご注意下さい。
3. 「登録票／件数入力」の画面では、まず、表記されている注意事項を先にお読みいただき入力を行って下さい。【必】のところは入力されないこと次の画面へ進めません。入力する枠には半角の数字を入力下さい。入力が済みましたら「次へ」をクリックして下さい。
演者数とその合計所属数及びキーワードを最初に入力します。この数字は次画面からの入力欄をいくつ表示するかを指定するものです。
4. 「登録票／所属機関」の画面では、「件数入力」で入力した数字分の所属機関数が表記されます。この部分も【必】扱いですので、全項目省略しないで入力下さい。所属は、研究者すべての所属を入力します。公開時に日・英両方表示することができますので、希望される方は日本語、英語両方入力して下さい。
5. 「登録票／研究者情報」の画面では、「件数入力」で入力した数字分の研究者数が表記されます。
 - (1) 会員情報の「会員区分」ではプルダウンメニューから選択します。右にある下向き矢印をクリックして選択を行って下さい。
 - (2) 「所属」は「登録票／所属機関」で入力したものが表示されます。
選択されたものが誤っている場合は、「戻る」をクリックし、入力をしなおして下さい。
6. 「登録票／連絡者情報」の画面では、連絡者に関する情報を入力します。
氏名、所属は、前の画面で入力した情報が自動表示されます。前の画面で「その他」を選択した場合は、自動表示されませんので氏名、所属から入力して下さい。
電子メールアドレスは、登録終了後、受付完了のメールが送られてきますので、必ず入力していただきます。メールアドレスは、J-STAGE から受付番号などをお知らせしますので間違えないように入力して下さい。全項目入力できましたら「次へ」をクリックして下さい。

7. 「登録票／演題情報」の画面では、演題情報を入力します。
「演題分類」をプルダウンメニューから選択して下さい。「発表形式」もプルダウンメニューから選択して下さい。「演題名」は講演原稿と同じものを入力して下さい。
パスワードは「登録内容確認」、「登録内容変更」、最終投稿等で必要になります。必ず覚えておいてください。全て入力が完了しましたら、「確認」をクリックして下さい。不安がある箇所があれば「戻る」をクリックして前画面にもどって確認下さい。
* 演題名、要旨については Web 画面で表示するための<タグ>が使用できます。<タグ>は、<I>、<SUP>、<SUB>、
を使用することができます。
8. 「確認」をクリックすると、「登録票／登録票入力確認」の画面が表示されます。登録内容に誤りがないことを確認して「登録」ボタンを押して下さい。これですべての入力作業は終了です。
9. 正常に登録されましたら「登録票／登録完了」の画面が表示されます。この画面では受付番号が表示されます。受付番号はパスワードとともに、「登録内容確認」、「登録内容変更」、最終投稿等で必要になります。必ず覚えておいてください。

＜補足説明＞

- ・投稿情報は、公開される情報になることから、入力内容の確認画面では投稿者は十分な確認をしたのち「登録」をクリックして下さい。
- ・登録が正常に行われましたら、J-STAGE から受付完了のメッセージが表示されます。6桁の受付番号も表示されますので、忘れないように控えておいてください。
注：変更処理等では、受付番号とパスワードを入力することになりますが、このときの受付番号は、先頭が0であっても6桁固定として入力して下さい。
- ・<タグ>を使用した場合の公開データの確認は、「登録内容確認」で表示イメージの確認により確認して下さい。
- ・登録締め切り後の変更はできませんので、締め切りまでに登録時の確認画面もしくは「登録内容確認」により必ず確認をしてください。
- ・登録締め切り直前（最終回）は、申込が殺到し入力しにくくなります。お早めに申込ください。

《画面構成》

1. 新規登録受付／工程選択（トップページ）
2. 登録票／言語選択
3. 登録票／件数入力
4. 登録票／所属機関
5. 登録票／研究者情報
6. 登録票／連絡者情報
7. 登録票／演題情報
8. 登録票／登録票入力確認
9. 登録票／登録完了



全国大会講演プログラム校正の電子化について

— ホームページ上での校正のみとなります。 —

全国大会運営委員会

下記により、「研究発表講演者」向け大会プログラムの校正を一部電子化（PDF 化）し、ホームページ上での校正刷りの閲覧をしておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

記

1. 校正開示

大会プログラムの印刷用版下が完了後、講演者宛に E メールにてご通知いたします。（**校正刷りの郵送はいたしません。**）万一事故等により E メールが未着の場合にも、3 月初旬には開示いたしますのでご利用ください。

2. 使用ソフト

アドビ社製アドビリーダー、バージョン 4.0 以上（ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応）

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produkts/acrobat/readstep.html>

また、現在アドビリーダー バージョン 3.0 の方は 4.0 にアップグレードしてください。

3. 開示場所 <http://www.jpp.co.jp/yosetu>

4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛 FAX (03-3253-3059) にて送信ください。E メールでの送信はご遠慮ください。

5. アドビリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版(株) クリエイトグループ

Tel: 06-6441-0075 E-mail: kobayasi@jpp.co.jp



全国大会における液晶プロジェクターの利用について

全国大会運営委員会

今秋季全国大会において、液晶プロジェクターの利用を希望される方は、下記の事項を遵守ください。

なお、パソコンは、発表者が各自ご持参ください。

記

全国大会運営委員会で準備する機器

- 1) 液晶プロジェクタ

発表者の準備するもの

- 1) パソコン
- 2) パワーポイントで作成した発表用のファイル

※休憩時間の際にパソコンの動作確認をしてください。

平成24年度春季全国大会フォーラム講演募集

主 題：「溶接構造物の耐疲労性向上技術の最前線」

座 長：館石和雄（名古屋大学）

開催趣旨：

溶接構造物の耐久性を支配する劣化因子の一つに溶接継手の疲労がある。溶接構造物の長寿命化を実現するためには、溶接継手の耐疲労性を向上させることが重要であり、これに関して多方面で技術開発が進められている。これらの技術は、継手に生じる応力度を低下させる技術と、継手の疲労強度そのものを改善する技術に分類される。また、新設段階において適用するための技術、維持管理段階においてまだ損傷が生じていない継手に対する予防保全のための技術、軽微な疲労損傷が生じた継手に対する耐疲労性回復技術などがあり、様々なフェーズでの活用が期待されている。近年の具体例をいくつか挙げると、材料的な視点からは、低温変態溶接材料や、疲労き裂の進展速度を抑制できる鋼材、高疲労強度ボルトなどが開発されている。新たな工法としては、機械的な打撃によって残留応力を制御し、疲労強度の向上や微小き裂の進展抑止を行う技術や、新材料の活用によって疲労き裂を補修する技術などが提案されている。本フォーラムでは、これらに例示されるような耐疲労性向上技術に関する最新の研究成果を幅広く募集する。現在の技術動向を踏まえた上で、残されている課題と、今後の技術の展開を議論する場としたい。

記

予定討議内容：

1. 新設段階と維持管理段階での耐疲労性向上技術の考え方
2. 溶接継手の疲労強度向上技術の現状と今後の展開
3. 軽微な疲労損傷を受けた構造物の耐疲労性回復技術の動向と課題

日 時：2012年4月11日（水）

会 場：ATC(大阪市住之江区)

申込方法：著者名、タイトル、概要（200字程度）、所属、連絡先を明記し、FAX(03-3253-3059)にて、溶接学会事務局へお申し込みください。

申込締切日：2011年10月11日（火）

講演採否：直接申込者に連絡いたします。

講演論文原稿送付締切日：2012年2月1日（水）

注) 採択された講演者には、所定様式に従って作成した原稿を上記送付期限までに提出していただきます。提出いただいた原稿は、溶接学会全国大会講演概要集No.90に掲載します。なお、講演時間は一件約15分～30分程度を予定しています。原稿作成方法などは座長より連絡します。

WEB掲載の溶接学会論文集29巻(平成23年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される会員各位は、会員特価にて下記により、平成23年11月末日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

なお、special issue of Visual-JW2010の論文は含みません。

溶接学会論文集 29巻 (平成23年度)

価 格：溶接学会会員特価 7,500円/年1冊 (税込)

送 料：500円 (税込)

発行時期：平成24年1月下旬頃

送付先：学会誌発送登録先

【申込先】

申込時に「会員番号」「お名前(会員名)」「冊数」「ご連絡先」をご明記の上、FAXにてお申込み下さい。折り返し、請求書をお送りいたします。

社団法人溶接学会 事務局 会員係 宛

F A X：03-3253-3059

申込締切：平成23年11月30日

入金締切：平成23年12月31日

尚、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

上記以外でご購入を希望される方は、日本印刷出版株式会社 (TEL 06-6441-0075 FAX 06-6443-5815) へ直接ご注文下さい。 定価 15,000円/冊 税込・送料別

会員以外の方の申込締切：平成24年3月31日

第39回溶接学会東部支部実用溶接講座(見学会 & 講演会)

IIW 資格制度特認コース：J-ANB 認定講座
ISO14731/WES8103 溶接管理技術者資格制度：
再認証審査小委員会認定講座

「最近のレーザー溶接・電子ビーム溶接の技術と適用事例」

主催：(社)溶接学会 東部支部
共催：(社)溶接学会 東部支部 - 東京地区委員会
協賛：日本溶接協会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本材料学会, 日本鉄鋼協会, 日本鋼構造協会, 日本ロボット学会, ステンレス協会, 軽金属溶接構造協会, 日本非破壊検査協会, 腐食防食協会, 日本溶接技術センター, 日本工業出版, 産報出版 (順不同, 含依頼中)
趣旨：

レーザー溶接および電子ビーム溶接は高能率・高品質な溶接方法として、微細加工から中厚板の溶接までさまざまな分野での実用化が進められています。本講座では、これらレーザー溶接・電子ビーム溶接の技術の最近の動向や製品適用の事例を紹介するとともに、工場の見学を実施いたします。多くの方のご参加をお願い申し上げます。

(工場見学に際しては、同業他社の方のご参加をお断りする場合があります。申込み時、事務局で確認の上ご連絡させていただきます)

開催日時：平成 23 年 11 月 11 日 (金)

開催場所：

講演会 羽村市生涯学習センターゆとろぎ 講座室 1A
(東京都羽村市緑ヶ丘 1-11-5)
見学会 東成エレクトロビーム株式会社 羽村工場
(東京都羽村市神明台 4-4-11)

定員：30 名(先着受付順, 定員に達した時点で締め切らせて頂きます)

参加費：溶接学会員(賛助会員含む)9,000 円,
非会員 13,000 円, 学生 4,000 円
(テキスト代・昼食代を含む)

申込締切：平成 23 年 11 月 3 日 (木) ※参加費振込み締切

申込方法：必要事項(末尾の申込書式参照)を記入の上, 電子メール, または FAX で申し込み下さい。申し込み後, 返信メールなどで仮参加受付を確認後, 以下の銀行に上記参加費を振り込み願います。振り込み確認後, 正式な参加受付確定としますので, 原則として上記締切日までに振込み願います。(振り込み手数料は各自ご負担願います)

[振込先]

みずほ銀行 大岡山支店 (支店番号: 145)
普通預金 口座番号: 2176706
名義: 溶接学会東部支部

申込先：東京工業大学大学院 理工学研究科
国際開発工学専攻 高橋研究室 三田尾
e-mail: jwseast@ide.titech.ac.jp
Fax: 03-5734-3915

受講ポイント：

- ①IIW 溶接技術者資格 特認コース履修ポイント
計 3.0 ポイント
(モジュール M1: 2.1pt, M4: 0.9pt)
- ②ISO14731/WES8103 溶接管理技術者
再認証クレジットポイント: 6 ポイント

■当日受付

受付場所：羽村市生涯学習センターゆとろぎ 講座室 1A

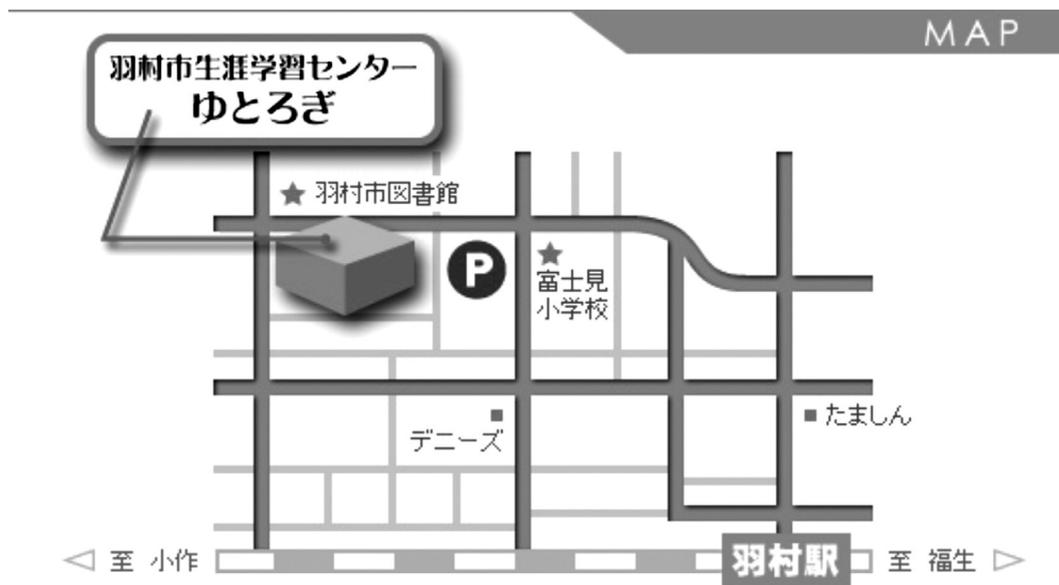
受付開始：9:20～（開始 9:50）

JR 青梅線 羽村駅下車 徒歩 10 分（お車での参加はお控え下さい）。

なお、午後の工場見学先の東成エレクトロビーム株式会社羽村工場へは、チャーターしたバスで移動します。

（電車参考）JR 新宿駅発 8:36（中央線快速豊田行）－ JR 立川駅着 9:12

JR 立川駅着 9:15（青梅線青梅行）－ JR 羽村駅着 9:35



解散予定場所：JR 青梅線羽村駅

見学会・講演会終了後は東成エレクトロビーム株式会社羽村工場から、バスで移動します。

（17 時 20 分頃に羽村駅到着予定）

プログラム：

- (1) 9:50～10:00 開会の挨拶（東部支部支部長）
- (2) 10:00～11:15 「重工業分野におけるレーザー加工の現状と欧州の動向」
株式会社 IHI 技術開発本部 生産技術センター
溶接技術部 山岡 弘人 氏
重工業分野におけるレーザー加工は、部材が厚肉・大型である上に継手に対する要求品質が高いために発振器能力と安定性が求められること、対象物の精度管理等において解決すべき課題が多いこと、また少量生産であるために設備コストが製造コストに見合わないなどの理由から、従来の利用は限定的であった。しかし、近年の著しいレーザー発振器の進歩により、その状況が変わりつつある。本講演では最近の重工業分野におけるレーザー加工の利用例の IHI の事例を中心に紹介すると共に、欧州を中心とした最新のレーザー発振器およびレーザー加工の動向についても紹介する。
- (3) 11:15～12:30 「自動車ボディにおけるレーザー加工応用」
日産自動車株式会社 車両生産技術本部
車両技術開発試作部 森 清和 氏
自動車ボディは、軽量化・構造合理化やコスト削減などのニーズに対応するため多様な溶接技術が用いられている。そのなかでもレーザー溶接は、1980年代からパネル切断、テーラードブランク、連続溶接、リモート溶接、プレージングへと、様々な応用がなされて、さらに新しいレーザー発振器や加工技術の進歩により、段階的に新しい加工応用が実用化されてきている。本報告では、自動車ボディの構造と材料の動向を解説するとともに、日産自動車と欧州各社のレーザー加工応用

- の事例を基にそれぞれの技術的な特徴と動向を紹介する。
- (4) 12:30～13:15 昼食休憩（お弁当をご用意します。弁当代は参加費に含む）
- (5) 13:15～13:45 移動（チャーターしたバスで移動します）
- (5) 13:45～14:45 「電子ビーム溶接の概要と加工事例の紹介」
東成エレクトロビーム株式会社
代表取締役副社長 上野 邦香 氏
電子ビームを用いた溶接は 0.1mm から 300mm 以上といった広範囲の溶込み深さが得られること、それぞれの材料・製品に応じた任意の溶込み形状が得られる溶接条件選択範囲の広さなどが特長として挙げられる。東成エレクトロビーム株式会社は国内最大規模のジョブショップとして 34 年にわたり電子ビーム溶接加工・レーザー加工の受託業務を請け負っており、航空宇宙部品・自動車関連部品・半導体装置関連部品・電子部品など、多岐にわたる適用分野で高品質な溶接を提供している。本講演では登場から 50 年以上が経過した現在でも大きな魅力を持つ加工法のひとつである電子ビーム溶接について、その原理・特徴や当社における加工事例の一部を紹介する。
- (6) 14:45～15:00 休憩
- (7) 15:00～16:30 東成エレクトロビーム 羽村工場見学会
見学にあたっては制約事項（撮影および触手禁止、携帯電話の携行禁止など）があります。また一部が非公開となる場合があります。
- (8) 16:30～16:40 質疑応答
- (9) 16:40～16:50 閉会の挨拶（東部支部副支部長）

■申込書式

第39回溶接学会東部支部実用溶接講座（見学会&講演会）申込書

（申込日： 月 日）

●受講者名（漢字&ふりがな）： _____

●会員資格（○をつけて下さい）： ・正会員 ・賛助会員 ・学生 ・非会員

●参加費請求書（○をつけて下さい）： ・要 ・不要

●勤務先／会社名・所属部課名 または通学先／大学名・所属学部学科名

●勤務先／通学先の連絡先

・住所： _____

・E-mail： _____ 電話： _____ FAX： _____



国際溶接学会 (IIW) グランジョン賞の募集について

IIW では、大学院生あるいは同年代の若い研究者による論文（単独著）を対象としたグランジョン賞を制定し、募集しております。

この賞は、IIW 科学技術幹事 H.Granjon 氏（仏）を記念したもので、若手研究者の溶接研究への関心を高めることを目的としています。

受賞候補論文は下記の要領により、1 国から 3 分野 3 論文（1 分野 1 論文）まで応募できます。

奮ってご応募ください。

申込要領：

次の事項を記載し、全論文（和英何れでも可）を付して、メールにて期日までにお申し込みください。

- (1) 著者名及び年齢
- (2) 学位（学士、修士、博士など）

(3) 論文を著作した時期及び職名

国内申込先及び締め切り日：2011 年 10 月 15 日

申込先（連絡先）：日本溶接会議（IIW）石丸賢二

email: ishmaru@tg.rim.or.jp

TEL: 03-3253-0488

国内審査：

応募いただきました論文を国内審査し、11 月初旬までに IIW 本部宛、IIW 事務局より申し込みます。なお、国際溶接学会（IIW）での発表実績を重視して審査します。審査に合格した論文は著者にて英文に翻訳（10 ページ程度、10 月 31 日までに）していただきますので、あらかじめご用意くださいますようお願いいたします。

授賞式は、2012 年デンバー（米国）大会になります。

社団法人溶接学会規則改定(年会費改定)について

理事会議決 平成23年3月28日
総会議決 平成23年4月21日

社団法人溶接学会規則第 17 条を下表のとおり改定することになりました。

現 行	改 定	備 考
第17条 定款第14条の入会金、会費については以下のとおりとする。	第17条 定款第14条の入会金、会費については以下のとおりとする。	
1. 入会金	1. 入会金	
正員 1,000円	正員 1,000円	
学生員 1,000円	学生員 1,000円	
2. 年会費	2. 年会費	
正員 10,000円	正員 <u>12,000円</u>	正員年会費
学生員 5,000円	学生員 <u>6,000円</u>	学生員年会費
賛助員 1口40,000円を1口以上	賛助員 1口40,000円を1口以上	

※年会費改定の実施は、平成 24 年度年会費納付からとします。

【改定理由】

溶接学会は、平成 18 年（2006）年に賛助員年会費の改定（値上げ）をさせて頂きましたが、正員、学生員の年会費は昭和 57 年（1982）年以来約 30 年間据置きでした。

一方、全国大会や講習会を充実し、論文集の WEB 化対応などを推進するとともに、ホームページの開設など会員へのサービス向上にも努めてまいりました。

しかし、他学会と同様に昨今の会員数の減少は避けられない状況であり、財務状況は年々厳しくなっています。今後、より一層会員サービスを向上させるためには、システム投資が必要不可欠であり、さらに若手育成を含めた活性化のためにも財源が必要な状況です。

そのため、平成 24 年度に予定している新しい法人制度への移行に合わせ、他学会並みのレベルに正員および学生員の年会費を改定いたしますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。